

碧南の図書館友の会会報

航海日誌



碧南の図書館友の会編集

碧南市鶴見町 1 - 7 0 - 1

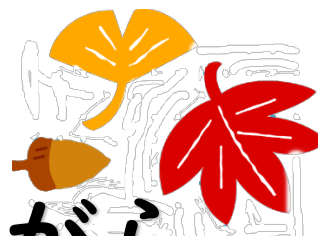
電話 0566(41)0894

No. 1 3 0 2019 年 1 2 月

編集責任者 広田吉一

令和元年度視察見学会は

晩秋の車窓を楽しみながら



- 開催日 場所 11 月 22 日 (金) 東海市立中央図書館 横須賀図書館
- 参加者 友の会会員 20 名 図書館職員 1 名



電動式閉架書庫の見学

東海市は昭和 44 年 4 月に上野町と横須賀町が合併し、愛知県で 23 番目に市として誕生しました。人口 11 万 2,861 人面積は 43,43km²。南北に長く、東側に臨海工業地帯を持つところは碧南に似ています。中央図書館は昭和 52 年に開館し、玄関前には東海市の偉人「細井平洲先生」の座像がありました。市民の憩いの場大池公園の中に位置する自然あふれる環境にある図書館でした。横須賀図書館は名鉄常滑線尾張横須賀駅前の総合施設内の 1 階と 4 階に平成 31 年 1 月 4 日に開館しました。



図書館友の会 視察見学会に参加して

今年は東海市。予備知識は鉄の町、そしてカゴメの蟹江さんくらい。最初は図書館本館そして横須賀分館。殊に分館。今年できたばかり。ハード、ソフト面が充実して少しうらやましくもありました。特筆すべきは、本館 1F に本の消毒器があり、衛生面にも配慮されていました。昼食はとまと記念館のランチ。野菜中心のメニューで、ヘルシーかつリーズナブルで質量とも充分。最後は東海芸術劇場、」駅直結で利用者にとって計算され、とても使い勝手のいい場所。これまで入ったことのない舞台裏まで見学させていただきました。最後に我が碧南図書館の独自のサークル活動はヒューマンウェア。サービスレベルとして、高さは決して遜色ないように感じ、誇りに思えました。友の会会長はじめ皆様には大変お世話になりました。感謝しつつ筆をおきます。ありがとうございました。

フリー会員 榎原 由太郎



とまと記念館 レストラン



東海市芸術劇場

平成 27 年 10 月にオープンした芸術文化の発信創造の場となる文化施設で、定員 274 名の小ホールでは、平土間のホールから、リモコンボタンの操作で現れる移動観覧席デモンストレーションに驚き 4 階には予約をして利用のできるバンドスタジオ、各種練習室、和室が備わっていました。最後はご自慢の大ホールを見せていただきました定員 1025 名 1 階席 711 席 車椅子席 6 席 2 階席 314 席・楽屋 7 室)

常設展示コーナーも充実しており、イベントのない時でも楽しむことのできる施設です。



大ホールを見学



小ホールで説明を聞く

東海市の偉人である「細井平洲先生」

東海市「細井平洲会」の会員である私は、東海市芸術劇場の開館記念座談会に参加致しました。平洲記念館名誉館長で作家の童門冬二、米沢上杉家第 17 代当主の上杉邦憲、芸術劇場の東広場に設置された「細井平洲先生 上杉鷹山公 対面の像」制作者で彫刻家の工藤潔の 3 氏による座談会です。冒頭、上杉氏は「アメリカのジョン・F・ケネディ大統領が上杉鷹山を絶賛した事実は無かった」と発言しました。これは童門冬二さんの上杉鷹山関連作品の最初に書かれている「もちネタ」を否定した問題発言でした。童門冬二さんの作品には次の様に記載されています。アメリカのジョン・F・ケネディ大統領が生きていたころ、日本人記者団と会見して、「あなたがもっとも尊敬する日本人は誰ですか」と質問されたことがあり、ケネディ大統領は即座に「それはウエスギヨウザンです」と答えた。ところが日本人記者団の方が上杉鷹山という人物を知らず、「ウエスギヨウザンて誰だ」とお互いに聞きあったというエピソードの記載部分のことです。

童門さん、その場では反論せず座談会の最後の挨拶の時に、ケネディ大統領の話は事実であったと理由も言わず反論していました。さてどちらが正しいのか、今となっては良く判からないですね。

フリー会員 武島 章



芸術劇場 嚶鳴広場（おうめいひろば）



細井平洲先生像

碧南の図書館友の会から図書館へ便利なカートを購入しました。

図書館を利用する方の為に設計されたコンパクトなカートです。本館に 2 台中部分館に 2 台設置してあります。リサイクル本バザーの収益金で購入しました。



リサイクル本バザー

日時： 令和 2 年 2 月 1 日（土）9 時から 17 時
2 日（日）9 時から 15 時

場所： 図書館本館 2 階

- 販売価格単行本 2 冊まで 100 円新書文庫本 4 冊まで 100 円
- 「友の会会員」の方には、本の購入券（100 円）と「呈茶券」を差し上げます。
- 同時に雑誌の無料配布が行われる予定です。（例年 1 人 5 冊まで）

本のリサイクルにご協力を

家庭で不要になった本でまだ使えると思われるものをバザー品として提供してください。教科書、参考書、マンガは対象になりません。

受付

令和 2 年 1 月 24 日（金）25 日（土）
26 日（日）

10 時～16 時図書館本館

本の提供者には、100 円本の購入券と呈茶券を進呈（単行本 5 冊以上、または文庫本 10 冊以上）。

友の会のごあんない

一緒に友の会活動を楽しませんか？

会報「航海日誌」をお届けします。

秋に行われる視察見学旅行への参加資格が得られます。（昼食費は自己負担）

リサイクル本バザーの本の購入券（100 円）と呈茶券を差し上げます。

会費 一人年額 500 円

（令和 2 年 3 月 31 日まで）

運営は会で選出された世話人が相談して運営します。

申し込み問い合わせ

図書館本館 Tel 0566（41）0894

申込用紙は図書館本館カウンターにあります。